

風邪と季節性インフルエンザの違い

病原体が違う

風邪

ライノウイルス
コロナウイルス
アデノウイルス
RSウイルス

インフルエンザ

インフルエンザウイルスA型、B型、C型

症状が違う

風邪

局所的な症状(鼻水・のどの痛み)
発熱はあっても微熱(38度以下)程度

インフルエンザ

比較的急速に始まる
38度以上の発熱
咳、のどの痛み、頭痛
全身倦怠感・関節痛
肺炎・脳症など重い合併症

流行時期が違う

風邪

冬、夏、季節の変わり目
一年を通して

インフルエンザ

1~2月がピーク
4~5月頃まで散発的に流行することも

季節性インフルエンザと新型インフルエンザ

【季節性インフルエンザ】

通常冬季に流行するインフルエンザ

【新型インフルエンザ】

新型インフルエンザとは、季節性インフルエンザと

抗原性が大きく異なるインフルエンザ

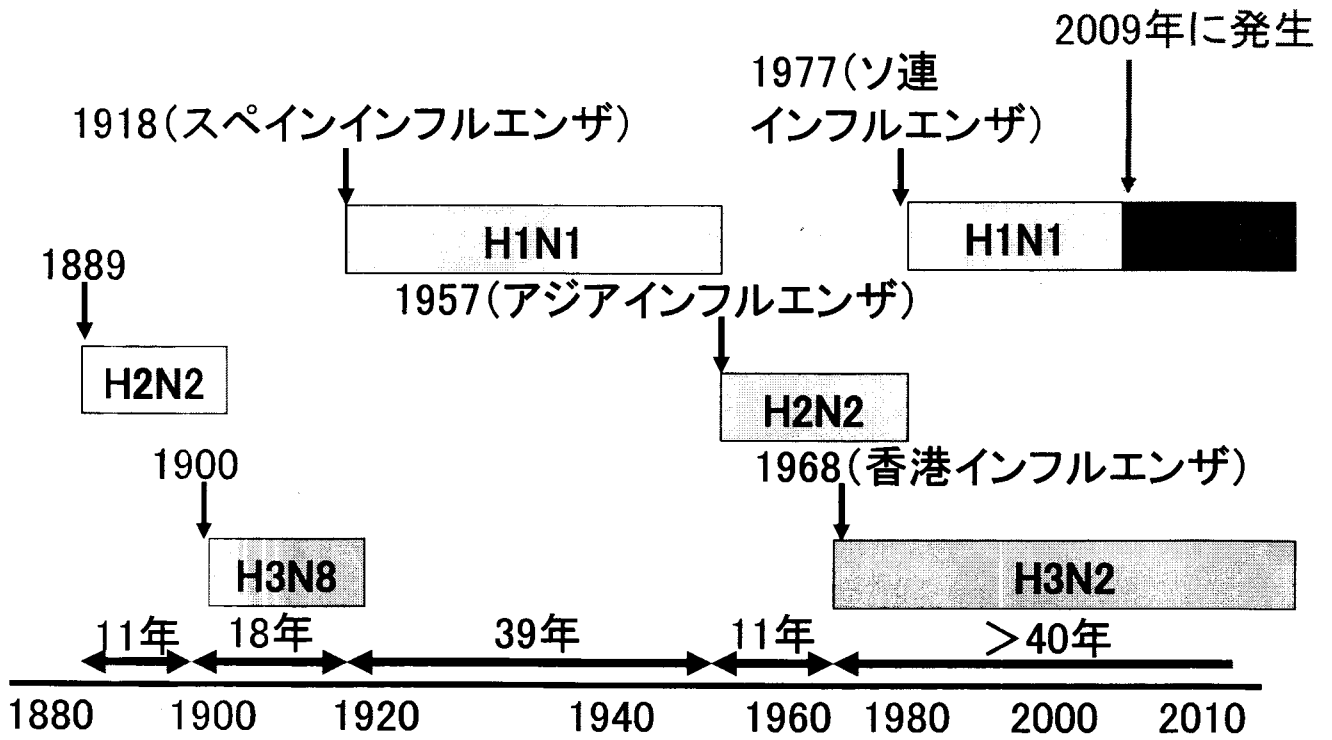
一般に国民が免疫を獲得していないことから、

全国的かつ急速なまん延により

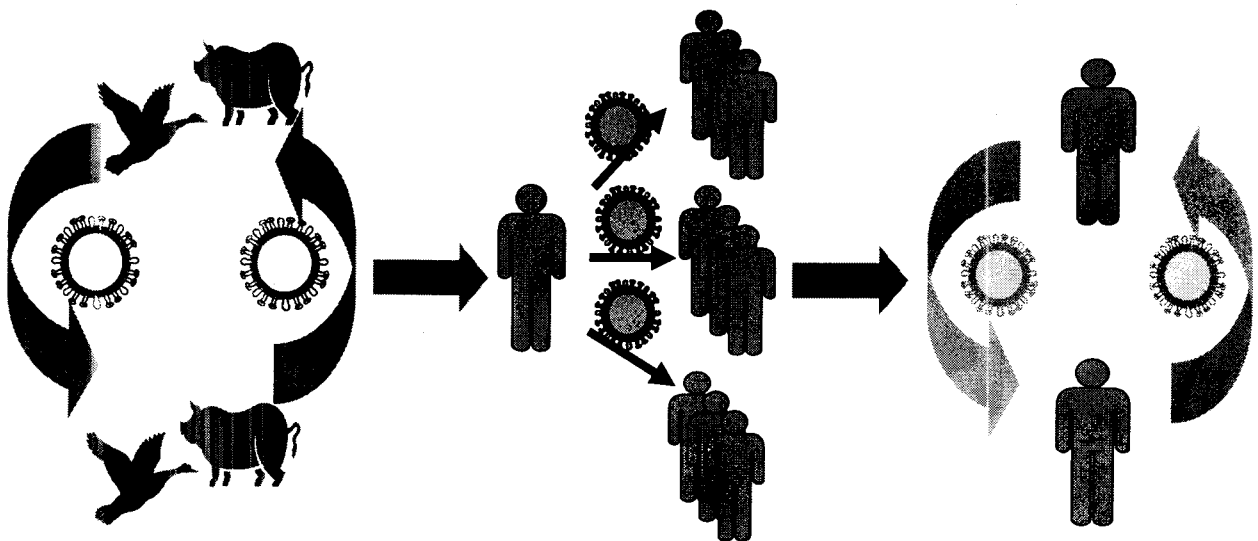
国民の生命および健康に重大な影響を与える

おそれがあると認められるもの

新型インフルエンザの歴史



動物のインフルエンザ 新型インフルエンザ ヒトインフルエンザ



動物の間で感染サイクルが成立

数十年に一度、動物のインフルエンザウイルスがヒトからヒトへの感染性を獲得してヒトでの大流行を引き起こす

1-2年で大流行は終息し、そのウイルスはヒトインフルエンザとしてヒトの間で周期的な流行を起こす